

《基礎科目》

科目名	パソコン				
担当者氏名	黒瀬 菜々				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 グローバル化に対応した教養と実践的な専門知識を有すること。				

《授業の概要》

基本的なパソコンスキルは社会人として必須であり、どのような場でも当然のスキルとして要求されるものである。この授業では、前期に学んだ基礎的な内容を復習しつつ、パワーポイント等を用いた発表、ワードやエクセル等を用いた資料準備などを行う。一人一人が自身の課題に取り組み、今後に活かせることを期待している。

《教科書》

適宜プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

授業において指定された課題に取り組み、教員からのチェックを受ける

《授業の到達目標》

1. ワード、エクセル、パワーポイントの基礎的な知識を身につけて実践できる。
2. 発表のツールとしてパワーポイントを利用できる。
3. 情報リテラシーを意識しつつ、インターネットやスマートフォンを有効に利用できるようになる。

《成績評価基準》

1. 指定された課題を完成させて提出すること。
2. 提出された課題の読みやすさ、正しさ、デザイン性などを判断し評価する。
3. パワーポイントを用いて、効果的にメッセージを伝えられていること。

《成績評価の方法》

課題 30%
 授業の取組 30%
 授業における発表 40%

《参考図書》

『学生のためのかんたんWord Excel PowerPoint入門』技術評論社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 前期の復習	復習：前期の内容を理解し、復習しておくこと(1時間)
2	前期の復習	予習：課題内容について考えてくること(1時間) 復習：発表内容を検討してくること(1時間)
3	発表練習と準備	予習：課題内容について考えてくること(1時間) 復習：発表内容を検討してくること(1時間)
4	発表練習と準備	予習：課題内容について考えてくること(1時間) 復習：発表内容を検討してくること(1時間)
5	発表練習と準備	予習：課題内容について考えてくること(1時間) 復習：発表内容を検討してくること(1時間)
6	発表練習と準備	予習：課題内容について考えてくること(1時間) 復習：発表内容を検討してくること(1時間)
7	中間発表	予習：発表準備(1時間) 復習：発表の振り返りから自らの発表内容を改善する(1時間)
8	中間発表 振り返り	予習：発表準備(1時間) 復習：発表の振り返りから自らの発表内容を改善する(1時間)
9	発表練習と準備	予習：課題内容について考えてくること(1時間) 復習：発表内容を検討してくること(1時間)
10	発表練習と準備	予習：課題内容について考えてくること(1時間) 復習：発表内容を検討してくること(1時間)
11	発表練習と準備	予習：課題内容について考えてくること(1時間) 復習：発表内容を検討してくること(1時間)
12	発表練習と準備	予習：課題内容について考えてくること(1時間) 復習：発表内容を検討してくること(1時間)
13	発表練習と準備	予習：課題内容について考えてくること(1時間) 復習：発表内容を検討してくること(1時間)
14	期末発表	予習：試験のための準備をしてくること(2時間)
15	期末発表 振り返り	予習：試験のための準備をしてくること(2時間) 復習：試験後の復習と自らの実践を行うこと(1時間)

《基礎科目》

科目名	英語				
担当者氏名	BUI THI THU SANG				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 グローバル化に対応した教養と実践的な専門知識を有すること。 1-DP4 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけていること。 1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》

Students who have completed English I or have basic knowledge of English will study more complicated grammars and vocabularies for work in different fields such as entertainment industry, hotel, trade, etc.. Moreover, students will get ready for TOEIC (listening & reading) during the course.

《教科書》

None

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

The teacher will get back to students within a week after their submission.

《授業の到達目標》

This course aims at getting students ready for TOEIC (listening & reading) with the score of 600 points. It is also designed to help students improve their pronunciation and give them chance to practice speaking under certain circumstances.

《成績評価基準》

Worksheet submission
Model TOEIC test

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
課題 50% 実技 %
授業の取組 50%
その他 () %

《参考図書》

Lin Lougheed(2016), Barron's TOEIC, Barrons Educational Series; Seventh edition

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	Orientation (restaurants)	Preparation (30 min): make a future plan Review (30 min): make a study plan
2	Prefixes & Suffixes (holidays)	Preparation (30 min): study new vocabularies Review (30 min): do the worksheet
3	Word families & Similar words(events)	Preparation (30 min): study new vocabularies Review (30 min): do the worksheet
4	Count & Non-count nouns (broadcast)	Preparation (30 min): study new vocabularies Review (30 min): do the worksheet
5	Articles (school)	Preparation (30 min): study new vocabularies Review (30 min): do the worksheet
6	Subject-verb agreement (purchasing)	Preparation (30 min): study new vocabularies Review (30 min): do the worksheet
7	Prepositions (travel)	Preparation (30 min): study new vocabularies Review (30 min): do the worksheet
8	Coordinating Conjunctions	Preparation (30 min): study new vocabularies Review (30 min): do the worksheet
9	Subordinating Conjunctions(banking)	Preparation (30 min): study new vocabularies Review (30 min): do the worksheet
10	Adverbs of frequency (accounting)	Preparation (30 min): study new vocabularies Review (30 min): do the worksheet
11	Causative verbs (investments)	Preparation (30 min): study new vocabularies Review (30 min): do the worksheet
12	Stative verds (taxes)	Preparation (30 min): study new vocabularies Review (30 min): do the worksheet
13	Listening comprehension targets	Preparation (30 min): evaluate your listening skill Review (30 min): practice listening
14	Reading targets	Preparation (30 min): evaluate your reading skill Review (30 min): practice reading
15	Model Test	Preparation (30 min): review your hand-written notes Review (30 min): correct your mistakes

《基礎科目》

科目名	日本文化基礎演習				
担当者氏名	徳永 玲子、黒瀬 菜々				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 グローバル化に対応した教養と実践的な専門知識を有すること。				

《授業の概要》

感性や芸術に対する好奇心を磨くことは、人生における精神的豊かさに繋がります。この授業は2名の講師によるオムニバス形式で、1回から8回は日本舞踊花柳流師範、三味線今藤流名取、絵本のお話を多数開催してきた講師による日本文化を見て体験する総合的授業です。9回からは日本美術の歴史的な流れや、その先にある現在の日本文化に目を向け、日本文化に関する教養を高めます。

《授業の到達目標》

日本の暮らし、文化を理解した上で、協調しコミュニケーションができるようになる。

日本の美術史に関する基礎知識を得るとともに、技法や作家、他文化の作品との比較など、多様な視点を持って美術作品を鑑賞することができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 10% レポート 40%
 課題 % 実技 %
 授業の取組 50%
 その他 () %

《教科書》

適宜プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

レポートは2週間以内にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

対話と、ミニテストの結果から理解度を、実技の中からコミュニケーション力を、評価する。

各回の授業や課題プリント等において、積極的に意見や感想を表すこと。

《参考図書》

「改訂版 西洋 日本美術史の基本」美術検定実行委員会編（美術出版社）
 その他適宜紹介

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	日本文化を知ろう	「日本文化とは」検索し、読んでおく(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
2	絵本で知る日本の風習・行事	好きな日本昔話を書きだし、物語の教訓は何かを考える。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
3	浴衣を着て、和楽器と触れ合う(着付け)	着付け(浴衣)の動画を見る(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
4	着物を着て、生け花に挑戦(着付け)	着付け(着物)の動画を見る(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
5	美しい文字を書こう ペン字・毛筆	「写経」、芭蕉の「奥の細道」について検索し、調べてください。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
6	エチュード「接客」 第一印象・言葉づかい	日本人の礼儀作法について検索し、読んでおく(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
7	エチュード「接遇」 表情・姿勢・ルール	日本人のマナーについて検索し、読んでおく(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
8	日本文化ミニテスト	7回までのおさらい(30分)
9	日本美術史 日本の歴史と美術	プリント該当部分を熟読し整理(30分) 作品や作家などについて調べ鑑賞(30分)
10	日本の美術史 日本の人物画	プリント該当部分を熟読し整理(30分) 作品や作家などについて調べ鑑賞(30分)
11	日本の美術史 日本の風景画	プリント該当部分を熟読し整理(30分) 作品や作家などについて調べ鑑賞(30分)
12	日本の美術史 日本の宗教美術	プリント該当部分を熟読し整理(30分) 作品や作家などについて調べ鑑賞(30分)
13	日本の美術史 日本の工芸と建築	プリント該当部分を熟読し整理(30分) 作品や作家などについて調べ鑑賞(30分)
14	日本の美術史 調べ学習・まとめ	プリント該当部分を熟読し整理(30分) 作品や作家などについて調べ鑑賞(30分)
15	日本の美術史 調べ学習・まとめ	プリント該当部分を熟読し整理(30分) 作品や作家などについて調べ鑑賞(30分)

《専門科目》

科目名	メディアと政治				
担当者氏名	今木 清志				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 高い倫理観と優れた人格を備え、法律のかつ政治的なものの考え方が出来ること。				

《授業の概要》

私たちの生活のあり方は、メディアと政治の両方に影響されている。主権者としての私たちは、メディアと政治の関わりについて知り、主体的に対応していく必要がある。この授業では、メディアと政治に関わる様々な映像作品を用いて、政治に対するメディアの現状や課題、役割などについて論じる。

《教科書》

使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講評や解説の時間を設ける

《授業の到達目標》

- (1)メディアと政治の関係の現状を説明できる
- (2)メディアと政治の関係の課題を説明できる
- (3)政治に対するメディアの役割とは何かを説明できる

《成績評価基準》

- (1)メディアと政治の現状について正確に説明できているか評価する
- (2)メディアと政治の課題について正確に説明できているか評価する
- (3)政治に対するメディアの役割について正確に説明できているか評価する

《成績評価の方法》

授業の取組 50%
 その他(リアクションペーパーなど) 50%

《参考図書》

適宜紹介する

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	日本政治入門 吉田茂と戦後日本	予習：テレビ・新聞の政治ニュースについて見解をまとめる(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
2	日本政治入門 吉田茂と戦後日本	予習：テレビ・新聞の政治ニュースについて見解をまとめる(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
3	日本政治入門 吉田茂と戦後日本	予習：テレビ・新聞の政治ニュースについて見解をまとめる(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
4	メディアとファシズム ヒトラーの野望	予習：テレビ・新聞の政治ニュースについて見解をまとめる(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
5	メディアとファシズム ヒトラーの野望	予習：テレビ・新聞の政治ニュースについて見解をまとめる(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
6	メディアとホロコースト 強制収容所の真実	予習：テレビ・新聞の政治ニュースについて見解をまとめる(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
7	メディアの世界大戦 チャップリンの戦い	予習：テレビ・新聞の政治ニュースについて見解をまとめる(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
8	メディアの世界大戦 チャップリンの戦い	予習：テレビ・新聞の政治ニュースについて見解をまとめる(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
9	メディアの世界大戦 チャップリンの戦い	予習：テレビ・新聞の政治ニュースについて見解をまとめる(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
10	メディアと政治 イラク戦争の真相	予習：テレビ・新聞の政治ニュースについて見解をまとめる(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
11	メディアと政治 イラク戦争の真相	予習：テレビ・新聞の政治ニュースについて見解をまとめる(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
12	メディアと政治 イラク戦争の真相	予習：テレビ・新聞の政治ニュースについて見解をまとめる(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
13	映像と政治 SNSが世界を変える	予習：テレビ・新聞の政治ニュースについて見解をまとめる(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
14	映像と政治 SNSが世界を変える	予習：テレビ・新聞の政治ニュースについて見解をまとめる(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
15	まとめ	予習：テレビ・新聞の政治ニュースについて見解をまとめる(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)

《専門科目》

科目名	法の適用				
担当者氏名	井上 しづ恵				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 高い倫理観と優れた人格を備え、法律のかつ政治的なものの考え方が出来ること。				

《授業の概要》

日常生活で起こりうるトラブルについて、問題を分析し、その解決方法を探る。また、一般企業や社会と異なるメディア業界の特殊性を考慮し、メディア業界で生きていくための法的知識を学ぶ。
 学生の興味・要望については、柔軟に対応する。

《教科書》

特に使用しない。
 授業はすべて作成教材を使用するので、教材は各自整理し、ファイリングすること。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講評、解説の時間を設ける。

《授業の到達目標》

- ・社会における法的問題を的確に把握し、具体的で妥当な解決方法を見出すことのできる新たな視点を持つ。
- ・問題解決について、論理的に説明ができる。
- ・法の基本的な知識を学び、それらに対して自分の考えを述べる事ができる。

《成績評価基準》

授業への参加状況を重視する。(問いかけに対するリアクション、ペアワーク・グループワークに能動的に参加しているかなど)意見が正しい、正しくないではなく、積極性を評価する。筆記試験も、自分なりの意見や感想が記述できているかを評価の対象とする。

《成績評価の方法》

筆記試験 60%
 授業の取組 40%

《参考図書》

適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	法とは何か	レジュメ、ノートの整理(1時間)
2	法の種類	レジュメ、ノートの整理(1時間)
3	法の考え方	レジュメ、ノートの整理(1時間)
4	憲法 判例を考える	レジュメ、ノートの整理(1時間)
5	表現の自由 プライバシー権	レジュメ、ノートの整理(1時間)
6	プライバシー権	レジュメ、ノートの整理(1時間)
7	名誉棄損	レジュメ、ノートの整理(1時間)
8	「もの」「期間」	レジュメ、ノートの整理(1時間)
9	契約	レジュメ、ノートの整理(1時間)
10	労働契約	レジュメ、ノートの整理(1時間)
11	クーリングオフ	レジュメ、ノートの整理(1時間)
12	交通事故	レジュメ、ノートの整理(1時間)
13	裁判員制度	レジュメ、ノートの整理(1時間)
14	模擬裁判	レジュメ、ノートの整理(1時間)
15	まとめ	レジュメ、ノートの整理(1時間)

《専門科目》

科目名	トータルコーディネート論				
担当者氏名	川野 聡子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

プロモデルレッスンコーチがモデルの経験を生かし、コーディネートについて学びます。毎回テーマを変え、生徒がそのテーマに合わせた洋服を自身でコーディネートし、サイズ感や色合わせ、選び方、ヘアメイクについて、解説をしながら各生徒へアドバイスをします。

《教科書》

使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

試験のフィードバックとして、講評や解説の時間を設ける

《授業の到達目標》

- ・身だしなみを整えることができる
- ・TPO に合ったコーディネートができるようになる
- ・ヘアメイクを含め、おしゃれでバランスの良いコーディネートができるようになる

《成績評価基準》

実技試験の結果により評価する

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
 課題 % 実技 70%
 授業の取組 30%
 その他 () %

《参考図書》

ファッション雑誌など

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	自分を知る、目標設定	どんな自分になりたいかを考える(1時間)・目標を具体的に設定する(1時間)
2	身だしなみについて	自分を見つめる(1時間)・洋服のお手入れ(1時間)
3	服の種類について	クローゼットの整理(1時間)・クローゼットの整理(1時間)
4	トータルコーディネート 好きなファッション	コーディネートを考える(1時間)・洋服の整理やお手入れ(1時間)
5	コーディネート カジュアル	コーディネートを考える(1時間)・洋服の整理やお手入れ(1時間)
6	トータルコーディネート カジュアル	コーディネートを考える(1時間)・洋服の整理やお手入れ(1時間)
7	コーディネート フェミニン	コーディネートを考える(1時間)・洋服の整理やお手入れ(1時間)
8	トータルコーディネート フェミニン	コーディネートを考える(1時間)・洋服の整理やお手入れ(1時間)
9	コーディネート クール	コーディネートを考える(1時間)・洋服の整理やお手入れ(1時間)
10	トータルコーディネート クール	コーディネートを考える(1時間)・洋服の整理やお手入れ(1時間)
11	トータルコーディネート ストリート	コーディネートを考える(1時間)・洋服の整理やお手入れ(1時間)
12	トータルコーディネート リゾート	コーディネートを考える(1時間)・洋服の整理やお手入れ(1時間)
13	トータルコーディネート ガーリー	コーディネートを考える(1時間)・洋服の整理やお手入れ(1時間)
14	マナー	コーディネートを考える(1時間)・学んだ事の実践(1時間)
15	まとめ	コーディネートを考える(1時間)・学んだ事の実践(1時間)

《専門科目》

科目名	エスニシティ研究(ヨーロッパ)				
担当者氏名	富永 真子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力		1-DP3 グローバル化に対応した教養と実践的な専門知識を有すること。			

《授業の概要》

毎回のテーマに沿い様々なエピソードを交え興味を持つことでヨーロッパの国々を身近に感じることができるよう進めて行きます。テーマ毎にそれぞれ発表担当の国を決め、グループ討議にて発表(プレゼン)し、自国との違いなど討議しつつ理解を深めていきます。

《授業の到達目標》

否応なく進む世界経済のグローバル化の中、ITの発達がさらにそれ加速させています。言語の違いのみならず、それぞれの国情が違う世界を知ることによって国際人としての知識や態度を身につけることを目標とします。

《成績評価の方法》

筆記試験 30%
レポート発表 70%

《教科書》

使用しない
必要に応じてプリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

テーマ毎にそれぞれ発表担当の国を決め、テーマごとに発表したプレゼン内容について、他学生の感想と共に授業内で評価ポイント(評価点数)を付与。

《成績評価基準》

- ・グローバル化社会において、基礎知識(ここではヨーロッパに限定し)を身につけ、適応力・対応力を身につけることができたか。
- ・グループ討議で、他に印象づけるプレゼンができたか。

《参考図書》

「ヨーロッパ46ヶ国の国民性」PHP 文集

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	コースの目標と内容の説明	復習: 講義中に学んだことをノートにまとめる(2時間)
2	世界の中のヨーロッパ、地理と国々	復習: 講義中に学んだことをノートにまとめる(1時間) 予習: グループ討議用発表担当国について調べる(1時間)
3	・続き(レポート発表+グループ討議)	復習: 講義中に学んだことをノートにまとめる(2時間)
4	意外と知らないヨーロッパの小さな国々	復習: 講義中に学んだことをノートにまとめる(1時間) 予習: グループ討議用発表担当国について調べる(1時間)
5	・続き(レポート発表+グループ討議)	復習: 講義中に学んだことをノートにまとめる(2時間)
6	EU について	復習: 講義中に学んだことをノートにまとめる(1時間) 予習: グループ討議用発表担当国について調べる(1時間)
7	・続き(レポート発表+グループ討議)	復習: 講義中に学んだことをノートにまとめる(2時間)
8	国や地域ごとの性格(ステレオタイプ)	復習: 講義中に学んだことをノートにまとめる(1時間) 予習: グループ討議用発表担当国について調べる(1時間)
9	・続き(レポート発表+グループ討議)	復習: 講義中に学んだことをノートにまとめる(2時間)
10	食文化	復習: 講義中に学んだことをノートにまとめる(1時間) 予習: グループ討議用発表担当国について調べる(1時間)
11	・続き(レポート発表+グループ討議)	復習: 講義中に学んだことをノートにまとめる(2時間)
12	ヨーロッパの国々(有名な物事)	復習: 講義中に学んだことをノートにまとめる(1時間) 予習: グループ討議用発表担当国について調べる(1時間)
13	・続き(レポート発表+グループ討議)	復習: 講義中に学んだことをノートにまとめる(2時間)
14	英語でひとこと	復習: 講義中に学んだことをノートにまとめる(2時間)
15	総括・筆記テスト	半期に学んだことを振り返る

《専門科目》

科目名	ホテル概論				
担当者氏名	中牟田 登喜枝				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》

ホテルビジネスの基本を踏まえ、基礎的な知識を説明し、実務内容を身につけられるよう実際の動画を使い学習してゆく

《教科書》

なし
プリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

《授業の到達目標》

- ・ホテルビジネスの基本構造を理解する
- ・国内外のホテル産業の発達の歴史や変遷を知る

《成績評価基準》

試験100点満点
授業進度に合わせ課題・レポート数回提出

《成績評価の方法》

筆記試験 50% 課題・レポート 50%

《参考図書》

現代ホテル産業概論 日本ホテルスクール発行

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ホテルの定義	メディア、インターネットを使い興味のあるホテルや学習したホテルを調べてみる(30分)
2	ホテルの種類と分類	メディア、インターネットを使い興味のあるホテルや学習したホテルを調べてみる(30分)
3	ホテル産業の特徴	メディア、インターネットを使い興味のあるホテルや学習したホテルを調べてみる(30分)
4	ホテルの業務 ドアマン	メディア、インターネットを使い興味のあるホテルや学習したホテルを調べてみる(30分)
5	ホテルの業務 ベルパーソン	メディア、インターネットを使い興味のあるホテルや学習したホテルを調べてみる(30分)
6	ホテルの業務 ベルパーソン	メディア、インターネットを使い興味のあるホテルや学習したホテルを調べてみる(30分)
7	ホテルの業務 ベルパーソン	メディア、インターネットを使い興味のあるホテルや学習したホテルを調べてみる(30分)
8	ホテルの業務 クローク	メディア、インターネットを使い興味のあるホテルや学習したホテルを調べてみる(30分)
9	ホテルの業務 ハウスキーピング	メディア、インターネットを使い興味のあるホテルや学習したホテルを調べてみる(30分)
10	ホテルの業務 コンシェルジュ	メディア、インターネットを使い興味のあるホテルや学習したホテルを調べてみる(30分)
11	ホテルの業務 インフォメーション	メディア、インターネットを使い興味のあるホテルや学習したホテルを調べてみる(30分)
12	欧米におけるホテルの発祥と歴史	メディア、インターネットを使い興味のあるホテルや学習したホテルを調べてみる(30分)
13	アジアにおけるホテルの発祥と歴史	メディア、インターネットを使い興味のあるホテルや学習したホテルを調べてみる(30分)
14	日本のホテル産業の発達史	メディア、インターネットを使い興味のあるホテルや学習したホテルを調べてみる(30分)
15	まとめ 期末テスト	半期を振り返りあまりよく理解できなかったものは配布プリントなどで復習する

《専門科目》

科目名	異文化コミュニケーション論				
担当者氏名	黒瀬 菜々				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 グローバル化に対応した教養と実践的な専門知識を有すること。 1-DP4 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけていること。 1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》

日本はもとより世界各国で出自や文化背景の異なる人々との交流が活発になっていきます。文化交流だけではなく、友人や隣人として共生していくために、今までは意識していなかった「文化」や「コミュニケーション」に目を向け、客観的な視点で物事を理解し表現する力が必要です。意識していない「文化」を考えるものさしとしての知識を得ることを目標とします。

《教科書》

適宜プリントを配布する

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

コメントをつけて返却

《授業の到達目標》

1. 普段の生活では気づいていない「文化」を意識化し、相対的に観察できるようになる。
2. 異文化コミュニケーションに関する基本的知識を得て、実生活と関連付けられるようにする。
3. 自文化の伝統や習慣、特徴などを他文化に属する他者に説明できるようにする。

《成績評価基準》

1. 毎回配布する課題プリントを提出すること
2. 授業で得た知識を、実生活の中で関連付けられるか具体例を示して説明できていること
3. 授業内でのグループワーク等で自らの文化や価値観について積極的に説明しようと努力していること

《成績評価の方法》

筆記試験 40%
 課題 30%
 授業の取組 30%

《参考図書》

「異文化トレーニング ボーダレス社会を生きる」八代京子他著(三修社)
 「異文化理解入門」原沢伊都夫著(研究社)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 「文化」とは何か	予習：シラバス熟読・理解(1時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
2	「文化」とは何か コミュニケーション	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
3	非言語コミュニケーション	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
4	非言語コミュニケーション	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
5	個人主義と集団主義	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
6	権力格差・不確実性回避傾向	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
7	コンテキストと文化	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
8	自己開示と文化	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
9	言語コミュニケーション	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
10	言語コミュニケーション	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
11	異文化適応とカルチャーショック	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
12	ステレオタイプと差別	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
13	異文化間コンフリクト・マネジメント	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
14	異文化コミュニケーション・トレーニング	予習：発表準備・配布資料熟読(3時間) 復習：実生活での具体例を 観察・発見(1時間)
15	試験とまとめ	予習：授業内容を整理し、理解しておく(4時間) 復習：解説を読み復習(2時間)

《専門科目》

科目名	言語コミュニケーション論				
担当者氏名	黒瀬 菜々				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけていること。 1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》

この科目は留学生向けの内容です。敬語表現や日常的な日本語の語彙を増やすこと、メールや文章作成にあたって必要な知識を得ることは、日本社会で働くにあたって重要です。また、日常生活でトラブルが起きたとき、適切に対処するにはどのような表現がよいか考えます。この授業では初めに各回数ずつスピーチを行い、それに関する意見交換を行います。

《教科書》

適宜プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

コメントをつけて返却

《授業の到達目標》

1. 自らの意見や物事に関する説明を、言葉で分かりやすく表して伝えることができる。
2. 敬語を使った表現に慣れ、場面に合わせて使用できるようにする。
3. メールや文章作成などの基本的なルールを身につけて実践する。

《成績評価基準》

1. 各回に行うスピーチにおいて、きちんと準備し練習して臨むこと、また各回の課題に自らの言葉で具体的に答えること。
2. 各回の提出プリントや試験において、場面や人物に応じて適切な敬語表現を使用すること。
3. 各回の提出プリントや試験において、学んだルールに即したメールが作成できること。

《成績評価の方法》

筆記試験 30%
課題 30%
授業の取組 40%

《参考図書》

『留学生のためのケースで学ぶ日本語: 問題発見解決能力を伸ばす』江後千香子他著(ココ出版)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 授業内容と課題	復習: 時事問題を調べる/ 表現の復習(2時間)
2	日本語の発音について	予習: 発表準備/新しい言葉を調べて記録する(2時間) 復習: 時事問題を調べる/ 表現の復習(2時間)
3	敬語/ケース・スタディ 人間関係トラブル	予習: 発表準備/新しい言葉を調べて記録する(2時間) 復習: 時事問題を調べる/ 表現の復習(2時間)
4	敬語/ケース・スタディ 事故・病気など	予習: 発表準備/新しい言葉を調べて記録する(2時間) 復習: 時事問題を調べる/ 表現の復習(2時間)
5	敬語/ケース・スタディ 仕事のトラブル	予習: 発表準備/新しい言葉を調べて記録する(2時間) 復習: 時事問題を調べる/ 表現の復習(2時間)
6	敬語/ケース・スタディ 店でのトラブル	予習: 発表準備/新しい言葉を調べて記録する(2時間) 復習: 時事問題を調べる/ 表現の復習(2時間)
7	敬語/ニュースと伝わる意見の述べ方	予習: 発表準備/新しい言葉を調べて記録する(2時間) 復習: 時事問題を調べる/ 表現の復習(2時間)
8	敬語/ニュースと伝わる意見の述べ方	予習: 発表準備/新しい言葉を調べて記録する(2時間) 復習: 時事問題を調べる/ 表現の復習(2時間)
9	敬語/ニュースと伝わる意見の述べ方	予習: 発表準備/新しい言葉を調べて記録する(2時間) 復習: 時事問題を調べる/ 表現の復習(2時間)
10	敬語/ニュースと伝わる意見の述べ方	予習: 発表準備/新しい言葉を調べて記録する(2時間) 復習: 時事問題を調べる/ 表現の復習(2時間)
11	日本語メールと文章 メールマナー	予習: 発表準備/新しい言葉を調べて記録する(2時間) 復習: 時事問題を調べる/ 表現の復習(2時間)
12	日本語メールと文章 メール作成	予習: 発表準備/新しい言葉を調べて記録する(2時間) 復習: 時事問題を調べる/ 表現の復習(2時間)
13	日本語メールと文章 書類作成	予習: 発表準備/新しい言葉を調べて記録する(2時間) 復習: 時事問題を調べる/ 表現の復習(2時間)
14	日本語メールと文章 レポート・添付	予習: 発表準備/新しい言葉を調べて記録する(2時間) 復習: 時事問題を調べる/ 表現の復習(2時間)
15	試験とまとめ	予習: 試験のための課題に取り組む(4時間) 復習: 返却課題の見直し/ 表現の復習(2時間)

《専門科目》

科目名	総合演習				
担当者氏名	宮谷 未知子、黒瀬 菜々、金子 朋未				
授業方法	演習	単位・必修	1単位・必修	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》

進路ガイダンスや、学校全体のテーマ（学務課、学生支援部、保健室等からの伝達、就職模擬テスト等）に対応する。本学科は、対外イベントの開催、TV 局やラジオ番組からの取材依頼、芸能事務所からの問い合わせが多いので、それらに学科全体として対応しつつ、イベント準備・メディアからの情報の周知を行う。一般企業への就職を目指す学生に対しては、タイピング検定合格を目指す中で、必要な知識を学ぶ。

《授業の到達目標》

本演習の目的は、第一にキャンパスライフを有意義に送るために必要とされる基本的な知識や教養を身につけること、第二にメディア業界で活躍するために必要とされるライブ配信サービス「SHOWROOM」での配信に習熟し、また一般企業を目指す学生に対し、タイピング技術を磨き資格取得につなげる。第三に、個人面談や説明会などを通して進路情報に積極的に触れることで自身の進路について考えられるようになることである。

《成績評価の方法》

レポート 30%
授業の取組 70%

《教科書》

西短進路指導部「就職活動ハンドブック」（2021）
授業内にて配布

《課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法》

企画案および反省点のレポートに対し、講評の時間を設ける。

《成績評価基準》

「SHOWROOM」は、グループを形成して配信し、各グループに配信内容の企画案および反省点のレポートを提出させる。その内容および配信への取り組みを評価する。また、その他の進路ガイダンスやイベント企画・準備、検定対策の授業においては取り組みの姿勢を重視する。

《参考図書》

「街場のメディア論」著者：内田樹 「情報演習 B タイピング練習ワークブック」カットシステム

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	状況説明1	予習：学内の年間行事、制度等の確認（30分） 復習：説明を受けた内容をメモし、見直す（30分）
2	状況説明2	予習：学内の年間行事、制度等の確認（30分） 復習：説明を受けた内容をメモし、見直す（30分）
3	適性検査（進路指導部・第一スタジオ）	予習：適性検査のための自己分析を行う（30分） 復習：自分の適性にあう職業や進路を調べる（30分）
4	文化祭準備1	予習：文化祭で実施したい企画をまとめておく（30分） 復習：準備の進行状況をまとめる（30分）
5	文化祭準備2	予習：文化祭で実施したい企画をまとめておく（30分） 復習：準備の進行状況をまとめる（30分）
6	適性検査結果配布および解説（進路指導部）	予習：ライブ配信内容の企画案作成（30分） 復習：適性検査結果の見直しを行う（30分）
7	SHOWROOM配信/タイピング検定説明および練習	予習：ライブ配信内容の企画案作成/タイピング基礎知識予習（30分） 復習：配信反省レポート/説明の見直し（30分）
8	SHOWROOM配信/タイピング検定レベル設定+演習	予習：ライブ配信内容の企画案作成/タイピング基礎知識予習（30分） 復習：配信反省レポート/タイピング練習（30分）
9	SHOWROOM配信/タイピング検定演習	予習：ライブ配信内容の企画案作成/タイピング個人練習（30分） 復習：配信反省レポート/タイピング練習（30分）
10	SHOWROOM配信/タイピング検定演習	予習：ライブ配信内容の企画案作成/タイピング個人練習（30分） 復習：配信反省レポート/タイピング練習（30分）
11	SHOWROOM配信/タイピング検定演習	予習：ライブ配信内容の企画案作成/タイピング個人練習（30分） 復習：配信反省レポート/タイピング練習（30分）
12	SHOWROOM配信/タイピング検定演習	予習：ライブ配信内容の企画案作成/タイピング個人練習（30分） 復習：配信反省レポート/タイピング練習（30分）
13	進路ガイダンス 外部講師による業界説明等	予習：自身の卒業後の進路について情報収集を行う（30分） 復習：自分の適性にあう職業や進路を調べる（30分）
14	進路ガイダンス 外部講師による業界説明等	予習：自身の卒業後の進路について情報収集を行う（30分） 復習：自分の適性にあう職業や進路を調べる（30分）
15	1年間の振り返り・各ゼミナール紹介	予習：春期休暇の計画をたてる（30分） 復習：総合演習で1年間行った内容の振り返り（30分）

《専門科目》

科目名	イベント研修				
担当者氏名	徳永 玲子、今木 清志、宮谷 未知子、黒瀬 菜々、金子 朋未				
授業方法	演習	単位・必修	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・通年（後期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。 1-DP4 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》

本学科は対外ライブを年3回程度開催、対外発表会を年1回開催し、ダンスユニット・声優ユニット・演劇ユニット・テクグループそれぞれの学生達が自力で対外的イベントを構成・展開しうる水準を目指すために、テレビドラマの制作現場でプロデューサーとしての実務経験を持つ教員等が指導する。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

イベント終了後、学生同士でディスカッションをする場を設け、総合的なフィードバックを行う。

《授業の到達目標》

本学科はあくまで「デビューの名に値するデビューを目指す」学科である。対外的イベントを展開しうるだけの基礎的資質を有した学生に対して、ジャンル別の特訓を課し、学科主催のイベントという総合的なエンターテイメントショーを構成できる水準にまで上昇せしめることを目的とする。

《成績評価基準》

各グループがいかなる自主的訓練を積み重ねたか、観客にいかなる感動を与えたかの2点に於いて評価する。

《成績評価の方法》

授業の取組 100%

《参考図書》

世界カワイイ革命
櫻井孝昌 著（PHP 新書）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス(後期のイベント実施計画)	予習: 学内の年間行事、制度等を確認すること(30分) 復習: 説明内容メモ見直し(30分)
2	イベント企画	予習: 年間イベント計画の検討(30分) 復習: イベント企画の内容の見直し(30分)
3	イベント練習1	予習: 年間イベント計画の検討(30分) 復習: イベント企画の内容の見直し(30分)
4	イベント練習2	予習: 準備の進行状況をまとめる(30分) 復習: 練習内容の見直し(30分)
5	イベント出演	予習: 準備の進行状況をまとめる(30分) 復習: 練習内容の見直し(30分)
6	出演イベントに関する振り返り	予習: 準備の進行状況をまとめる(30分) 復習: 本番の反省(30分)
7	卒業公演に向けた企画・構成1	予習: 様々な予習: 準備の進行状況をまとめる(30分) 復習: ライブ配信内容の企画案作成(30分)
8	卒業公演に向けた企画・構成2	予習: 様々な予習: 準備の進行状況をまとめる(30分) 復習: ライブ配信内容の企画案作成(30分)
9	「SHOWROOM」学科配信に向けた企画・構成1	予習: 様々な予習: 準備の進行状況をまとめる(30分) 復習: ライブ配信内容の企画案作成(30分)
10	「SHOWROOM」学科配信に向けた企画・構成2	予習: 様々な予習: 準備の進行状況をまとめる(30分) 復習: ライブ配信内容の企画案作成(30分)
11	「SHOWROOM」学科配信に向けた練習1	予習: ライブ配信内容の企画内容の見直し(30分) 復習: 配信ライブの練習内容の検討(30分)
12	「SHOWROOM」学科配信に向けた練習2	予習: ライブ配信内容の練習の進捗を確認(30分) 復習: 配信ライブの練習内容の検討(30分)
13	「SHOWROOM」学科配信本番実施	予習: ライブ配信内容の練習の進捗を確認(30分) 復習: ライブ配信内容の反省点をまとめる(30分)
14	卒業公演に向けた練習1	予習: 卒業公演の各シーンにおける練習の進捗を確認(30分) 復習: 卒業公演に関する練習内容の見直し(30分)
15	卒業公演に向けた練習2	予習: 卒業公演の各シーンにおける練習の進捗を確認(30分) 復習: 卒業公演に関する練習内容の見直し(30分)

《実務科目》

科目名	アナウンスメント				
担当者氏名	金子 朋未				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

レポートやナレーション経験のある教員が、人前で話したり、原稿を読むに当たっての表現方法について、その実務経験を活かし、滑舌や発声といった基本を大切にしながらも様々なパターンのアナウンスの原稿を用いた実践的授業を行う。

《教科書》

使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

希望があれば解説の時間を設ける。

《授業の到達目標》

滑舌よくしゃべることはもちろん、自分がどう映っているか「映像」を考えながら、その場に応じた適切な言葉を用いて発言することができるようになる。
文章の意味が、どのような言い回しや表現にすれば伝わるかと工夫できるようになる。

《成績評価基準》

授業で習った発声方法、滑舌、言葉遣いをどのくらい習得できているか、見ている人に伝わるように、話すスピードや内容の構成方法に工夫があるか、実技試験で判断する。
また、毎回の授業で、指摘された改善点を習得しようとしているか、授業へ取り組む姿勢を評価する。

《成績評価の方法》

実技 40% 授業の取組 60%

《参考図書》

適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	発声・滑舌	発声練習(30分) 苦手な言葉を練習する(30分)
2	発声・滑舌	発声練習(30分) 口の動きを意識して文を読む(30分)
3	ナレーション	発声練習(30分) ナレーションを意識してテレビを見る(30分)
4	ナレーション	発声練習(30分) ナレーションを意識してテレビを見る(30分)
5	ナレーション	発声練習(30分) 授業で行ったナレーションの復習(30分)
6	フリートーク	発声練習(30分) 印象に残った出来事を書き出す(30分)
7	フリートーク	発声練習(30分) 印象に残った出来事を書き出す(30分)
8	自己 PRの考え方	発声練習(30分) 長所と短所を書く(30分)
9	自己 PR(実践)	発声練習(30分) 自分が興味があるものを書き出す(30分)
10	自己 PR(実践)	発声練習(30分) 自己PRの改善点を書く(30分)
11	レポート	発声練習(30分) テレビのレポートを見る(30分)
12	レポート	発声練習(30分) 自分の家をレポートしてみる(30分)
13	インタビュー	発声練習(30分) 授業で学んだ表現方法の復習(30分)
14	インタビュー	発声練習(30分) 授業で学んだ表現方法の復習(30分)
15	まとめ	発声練習(30分) できるようになったこと、克服したいことを書く(30分)

《実務科目》

科目名	演劇表現基礎演習				
担当者氏名	徳永 玲子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力		1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。			

《授業の概要》

発声 即興劇 エチュード 脚本を読む、創る
朗読 アナウンス 演じる

《教科書》

プリントを配布する。
「話術上達のための基礎的訓練」

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講評や、解説の時間を設ける。
ワーク課題はコメントをつけて返却。

《授業の到達目標》

想像力、集中力を高め、肉体を使って演技、表現できるようになる。

《成績評価基準》

「50音の歌」暗記朗読テスト

《成績評価の方法》

筆記試験 10% レポート 20%
課題 10% 実技 70%
授業の取組 20%
その他 () %

《参考図書》

適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	発声 観劇 宝塚音楽学校「ブスの25か条」	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
2	発声 即興劇「笑わせる」バランス感覚	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
3	発声 きめ台詞 音楽を聴きながら	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
4	発声 詩の朗読	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
5	発声 短編作品の朗読、演技	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
6	発声 絵本の朗読「いのちをいただく」	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
7	発声 絵本の朗読「いのちをいただく」	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
8	発声 脚本を読む「あらしのよるに」	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
9	発声 脚本を読む「あらしのよるに」	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
10	発声 演じる「鶴の恩返し」	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
11	発声 演じる「鶴の恩返し」	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
12	発声 演じる「心をぬらす雨のように」	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
13	発声 演じる「心をぬらす雨のように」	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
14	発声 演じる「心をぬらす雨のように」	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
15	「50音の歌」暗記朗読テスト	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)

《実務科目》

科目名	ボーカル（声楽）				
担当者氏名	林 麻耶				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

ソプラノ歌手である教員が、より良く歌えるような発声方法、歌を通しての表現方法、読譜力などの音楽の基本的な部分を教えます。
最終回には、1・2年生合同の公開発表会を行い、人前で歌えるように作品を仕上げしていきます。

《授業の到達目標》

歌を通して、様々な時代の様式、作曲家による作品の魅力を知り、合唱やミュージカルのアンサンブル作品に取り組むことにより、仲間と音楽を作りあげることの楽しさや難しさを感じていくことを目標とします。

《成績評価の方法》

実技 60%
授業の取組 40%

《教科書》

コーラス・トレーニング2
(2年間使用します)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

試験は全て実技です。
動画撮影を行い、振り返って感想を述べあうと共に、今後の課題を確認します。

《成績評価基準》

到達目標に基づき、平常の授業への取り組みと、積極的な姿勢を総合的に評価します。

《参考図書》

授業時にプリントを配布します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	3部合唱	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
2	3部合唱	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
3	3部合唱	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
4	3部合唱	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
5	ミュージカル	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
6	ミュージカル	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
7	ミュージカル	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
8	ミュージカル	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
9	ミュージカル	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
10	ミュージカル	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
11	ミュージカル	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
12	ミュージカル	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
13	ミュージカル	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
14	発表会リハーサル 仕上げ	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
15	公開発表会 まとめ	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)

《実務科目》

科目名	洋舞特演 - B				
担当者氏名	宮谷 未知子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

ダンスインストラクターやアーティストバックダンサーの実務経験を持つ教員が、身体表現の幅を広げステージで表現するための実践的授業を行う。また、踊るために必要な身体づくりのためのトレーニング指導を行う。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

実技試験のビデオ撮影を行い、今後の課題や改善点を一人ずつフィードバックする時間を設ける。

《授業の到達目標》

洋舞特演 Aで習得した動きから、さらに発展させていく。ステージパフォーマンスの基本となる JAZZダンスの基礎的な動きを一通り経験し、身体の使い方を覚える。はじめは思い通りに身体が動かないかもしれないが、まずは自身の身体と向き合いコントロールしようとする姿勢を身につける。

《成績評価基準》

授業で習った様々なステップや振付をどれくらい習得できているか実技試験で判断する。毎回の授業で集中し自身の身体をコントロールしようとするかどうかが、その取り組みの姿勢を評価する。

《成績評価の方法》

実技 30%
授業の取組 70%

《参考図書》

「ダンス解剖学」
ジャッキー・グリーン・ハース著
武田淳也 監訳

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	前期の振り返り	予習：好きなアーティストのパフォーマンスを研究する(30分) 復習：授業で習った内容を復習する(30分)
2	基本的な動き1(プリエの復習)	予習：好きなアーティストのパフォーマンスを研究する(30分) 復習：授業で習った動作を復習する(30分)
3	基本的な動き2(タンジュ、ジュッテ)	予習：好きなアーティストのパフォーマンスを研究する(30分) 復習：授業で習った動作を復習する(30分)
4	基本的な動き3(ロン・ド・ジャン)	予習：好きなアーティストのパフォーマンスを研究する(30分) 復習：授業で習った動作を復習する(30分)
5	基本的な動き4(フォンデュ、デヴェロッパ)	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習：授業で習った動作を復習する(30分)
6	基本的な動き5(アラベスク)	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習：授業で習った動作を復習する(30分)
7	基本的な動き6(パットマン)	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習：授業で習った動作を復習する(30分)
8	基本的な動き7(シェネ・ターン)	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習：授業で習った動作を復習する(30分)
9	基本的な動き8(クロスフロア)	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習：授業で習った動作を復習する(30分)
10	基本的な動きを組み合わせたコンビネーション1	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習：授業で習った動作を復習する(30分)
11	基本的な動きを組み合わせたコンビネーション2	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習：授業で習った動作を復習する(30分)
12	基本的な動きを組み合わせたコンビネーション3	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習：授業で習った動作を復習する(30分)
13	基本的な動きを組み合わせたコンビネーション4	予習：指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習：授業で習った動作を復習する(30分)
14	実技テスト・ビデオ撮影	予習：テストに向けてこれまでのレッスンの復習する(30分) 復習：テストの内容を復習する(30分)
15	フィードバック・まとめ	予習：テストに向けてこれまでのレッスンの復習する(30分) 復習：テストの内容を復習する(30分)

《実務科目》

科目名	アフレコ				
担当者氏名	小鶴 史江				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。 1-DP4 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》

アフレコのために必要な、『声だけで表現する演技』の基本的な技術について学ぶ。また、声優が主として行う様々な仕事の内容についても体験していく。可能な限り様々な作品を演じ、個々に向いている表現・演出方法を追求していく。

《教科書》

こちらで用意する台本等

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

実技に対し、口頭で行う。

《授業の到達目標》

- ・マイク前で抵抗なく、個性や感情を自由に表現できる。
- ・表現したいことを他者に説明し、自分自身を演出できるようになる。
- ・豊かな感情表現を身に着ける。

《成績評価基準》

- ・演出プランや場面ごとに推測される感情、感覚を説明できるか。
- ・演出プラン通りに表現できるか。
- ・表現する事を楽しめているか。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
課題 % 実技 60%
授業の取組 30%
その他(成長率(見込)) 10%

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	個々を知る	予習：簡単な自己紹介。『なりたい、理想の自分』について考えておく。(10分) 復習：日常のあらゆる場面で現れる、自分らしさに気づく。(20分)
2	感覚を表現する	予習：同じ言葉でも、話し相手や状況で表現が変わることに気づく。(15分) 復習：他の演出方法がなかったかを考え、実際に表現してみる。(30分)
3	台本のチェック方法と読み方(ひとり会話)	予習：会話の前後や途中で何を感じているか考えているかを意識する。(30分) 復習：課題の内容に過不足がなかったかを見直し、表現してみる。(30分)
4	台本の読み方(動き)	予習：動きながらしゃべる時、声はどう変化しているかを感じる。(10分以上) 復習：直立姿勢でも、動いた時と同じ調子でしゃべれるか再現してみる。(30分)
5	台本の読み方(会話)	予習：会話をする時、無自覚に考えていることを意識してみる。(20分) 復習：課題に対し、別の解釈ができないかを考え、演じてみる。(30分以上)
6	”表現する”朗読	予習：『表現する』とは具体的にどういったことを考える。(15分) 復習：様々な文章を声に出して『表現』してみる。(30分)
7	朗読を演出する方法と実習	予習：課題に対し、何を考えたか、どう表現したいかをまとめる。(15分) 復習：自身の演出プランに従って、改めて声に出して表現してみる。(15分以上)
8	表現するナレーション(CMナレ1)	予習：様々な作品のナレーションを聞き、どう感じたかを考える。(15分) 復習：課題をひとりでやり直してみる。(15分以上)
9	表現するナレーション(CMナレ2)	予習：様々な作品のナレーションを聞き、どう感じたかを考える。(15分) 復習：課題をひとりでやり直してみる。(15分以上)
10	表現するナレーション(番組ナレ1)	予習：様々な作品のナレーションを聞き、どう感じたかを考える。(15分) 復習：課題をひとりでやり直してみる。(15分以上)
11	表現するナレーション(企業ナレ)	予習：様々な作品のナレーションを聞き、どう感じたかを考える。(15分) 復習：課題をひとりでやり直してみる。(15分以上)
12	自然な語り(ラジオ・パーソナリティ)	予習：自分の魅力(声について)を見つける。(20分) 復習：今までの課題を『自然な調子で』読み直してみる。(30分)
13	ボイスサンプル作成	予習：自分の魅力を表現できる作品を見つける。(30分) 復習：今回の課題を読み直し、録音して聞き返してみる。(30分)
14	半期の成果の発表	予習：課題について考え、声に出して表現する。(30分) 復習：『リラックス』した状態で、再度プラン通りに読み直してみる。(30分)
15	振り返りと個々の『課題』の提案	予習：前回の課題を復習しておく。(30分) 復習：今までの渡されている課題を『語り』直してみる。(30分)

《実務科目》

科目名	ラジオ番組制作演習				
担当者氏名	金子 朋未				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・通年（後期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

ラジオ番組で、自分で取材先を見つけ原稿を書き、レポートを行っていた教員が、ラジオでの話し方からトーク内容の構成まで、その実務経験を活かし、相手と円滑にコミュニケーションを取り、自分が伝えたいことを明確に表現することができるための実践的授業を行う。また、しゃべる際に適した発声方法を指導する。

《授業の到達目標》

声だけで表現する「ラジオ」において、見えないものを想像できるように、適切な言葉で表現できるようになる。現場の状況に応じた言葉遣い、声色で表現ができるようになる。ラジオ番組はどのような構成で作られているのか、どのようなテンポで話すのか自主的に聞いて研究し、自分なりのラジオ原稿を作って応用できるようになる。

《成績評価の方法》

実技 40% 授業の取組 60%

《教科書》

使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

希望があれば解説の時間を設ける。

《成績評価基準》

授業で習った発声方法をどのくらい習得できているか、滑舌良く話せるか実技試験で判断する。毎回の授業で、ラジオで、見えないものを表現豊かに伝えるための言葉を覚え、選ぼうと努めているかどうか、その取り組みの姿勢を評価する。

《参考図書》

適宜紹介する

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	レポートの構成方法、アポの取り方	発声練習(30分) ラジオを聴く(30分)
2	写真の場所に行ったつもりでレポートする	発声練習(30分) 聞いたことのないラジオ番組を聴く(30分)
3	写真の場所に行ったつもりでレポートする	発声練習(30分) 写真を見てレポートする(30分)
4	ラジオ CMのやり方	発声練習(30分) ラジオを聴く(30分)
5	ラジオ CM (実践)	発声練習(30分) ラジオを聴く(30分)
6	フリートーク	発声練習(30分) ラジオを聴いて、どんな風に話しているか研究する(30分)
7	フリートーク	発声練習(30分) ラジオを聴いて、どんな風に話しているか研究する(30分)
8	フリートーク	発声練習(30分) テーマを決めて1分間話す(30分)
9	販促中継のやり方	発声練習(30分) ラジオを聴く(30分)
10	販促中継(実践)	発声練習(30分) 自分のレポートの改善点を書き出す(30分)
11	販促中継(実践)	発声練習(30分) 自分のレポートの改善点を書き出す(30分)
12	ラジオ番組を構成する	発声練習(30分) 構成を意識しながらラジオを聴く(30分)
13	オリジナル番組(録音)	発声練習(30分) 自作ラジオの改善点を復習する(30分)
14	オリジナル番組(聴く)	発声練習(30分) 自作ラジオの改善点を復習する(30分)
15	まとめ	発声練習(30分) 今後の目標や改善点をノートに書く(30分)

《実務科目》

科目名	映像制作演習				
担当者氏名	宮谷 未知子、金子 朋未				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・通年（後期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

メディアの制作現場での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし映像制作の企画から演出、撮影や編集の方法を指導する。チームごとにテーマを設定し、テーマに沿った映像作品の制作を行う。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

発表した映像作品に対し、講評の時間を設けます。

《授業の到達目標》

学生全員が、映像の企画・演出・出演・撮影・編集に総合的にかかわる事によって、演技者の立場からの景色だけでなく制作全体の立場からの景色を見る能力の質を獲得する。

《成績評価基準》

チームでの映像制作となるため、それぞれの役割を果たし、チームの映像制作に貢献しているかどうかで判断する。

《成績評価の方法》

課題 30% 実技
授業の取組 70%

《参考図書》

「映像演出の教科書」
著書：藍河 兼一
出版：玄光社 MOOK

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	予習：映像表現に関する本を自由選んで読んでおくこと(30分) 復習：自分の映像に必要な材料を集める(30分)
2	グループ分け、企画全体会議	予習：映像表現に関する本を自由選んで読んでおくこと(30分) 復習：自分の映像に必要な材料を集める(30分)
3	映像テーマごとの計画1	予習：取り組みたいテーマに近い映像作品を鑑賞する(30分) 復習：自分の映像に必要な材料を集める(30分)
4	映像テーマごとの計画2	予習：取り組みたいテーマに近い映像作品を鑑賞する(30分) 復習：自分の映像に必要な材料を集める(30分)
5	絵コンテ制作1	予習：取り組みたいテーマに近い映像作品を鑑賞する(30分) 復習：自分の映像に必要な材料を集める(30分)
6	絵コンテ制作2	予習：取り組みたいテーマに近い映像作品を鑑賞する(30分) 復習：自分の映像に必要な材料を集める(30分)
7	撮影1	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する(30分) 復習：撮影した動画を見て足りない部分を検討する(30分)
8	撮影2	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する(30分) 復習：撮影した動画を見て足りない部分を検討する(30分)
9	撮影3	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する(30分) 復習：撮影した動画を見て足りない部分を検討する(30分)
10	撮影4	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する(30分) 復習：撮影した動画を見て足りない部分を検討する(30分)
11	編集1	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する(30分) 復習：編集した内容を見て、より分かりやすくするための研究をする(30分)
12	編集2	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する(30分) 復習：編集した内容を見て、より分かりやすくするための研究をする(30分)
13	編集3	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する(30分) 復習：編集した内容を見て、より分かりやすくするための研究をする(30分)
14	編集4	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する(30分) 復習：編集した内容を見て、より分かりやすくするための研究をする(30分)
15	グループごとの作品相互鑑賞会および講評	予習：鑑賞会の際のプレゼンテーションの準備する(30分) 復習：各グループの作品を見て、より分かりやすくするための研究をする(30分)

《実務科目》

科目名	プロジェクト・プランニング				
担当者氏名	BUI THI THU SANG、金子 朋未				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・通年（後期）
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力	1-DP4 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》

後期は計画したプロジェクトの実施に向かって、仕事分担や宣伝について学んだ後、プロジェクトの実施の準備や参加者募集を行い、最後に自分の成長を分析する。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題は授業の時間内もしくは次の授業でフィードバックする

《授業の到達目標》

プロジェクトを実施する際、起こった問題を解決できるようになり、最後に自分の成長をまとめるポートフォリオを作成することができる。

《成績評価基準》

報告会
ポートフォリオ作成

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
課題 50% 実技 %
授業の取組 50%
その他 () %

《参考図書》

「プロジェクト学習の基本と手法」 鈴木敏恵著（教育出版）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	宣伝について	予習内容(30分): プロジェクトの内容・アピールポイント確認 復習内容(30分): 宣伝資料の構成を考える
2	宣伝資料作成	予習内容(30分): 宣伝資料の構成を決める 復習内容(30分): 宣伝資料の最終確認・印刷
3	現状報告・問題対応	予習内容(30分): 現状確認 復習内容(30分): 問題解決
4	現状報告・問題対応	予習内容(30分): 現状確認 復習内容(30分): 問題解決
5	現状報告・問題対応	予習内容(30分): 現状確認 復習内容(30分): 問題解決
6	現状報告・問題対応	予習内容(30分): 現状確認 復習内容(30分): 問題解決
7	現状報告・問題対応	予習内容(30分): 現状確認 復習内容(30分): 問題解決
8	現状報告・問題対応	予習内容(30分): 現状確認 復習内容(30分): 問題解決
9	現状報告・問題対応	予習内容(30分): 現状確認 復習内容(30分): 問題解決
10	現状報告・問題対応	予習内容(30分): 現状確認 復習内容(30分): 問題解決
11	報告資料作成	予習内容(30分): まとめ 復習内容(30分): 資料作成
12	報告資料作成	予習内容(30分): 資料作成 復習内容(30分): 資料作成
13	報告会	予習内容(30分): リハーサル 復習内容(30分): 振り返り
14	フェーズ「成長確認」	予習内容(30分): ポートフォリオ整理 復習内容(30分): 成長シート作成
15	ポートフォリオ工夫	予習内容(30分): ポートフォリオ整理 復習内容(30分): ポートフォリオ工夫

《実務科目》

科目名	キャリア研究				
担当者氏名	原田 愛子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・必修	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》

自己理解、仕事理解を深め、進路や夢実現に向けてのキャリアプランを設定する。

《教科書》

プリントを配布します

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題ごとに個別にコメントを伝え、随時フィードバックを行う

《授業の到達目標》

自分のキャリアプランを考え、進路や夢の実現のためにどう取り組むかを学び、自分をアピールできるようになることを目標とする。

自己分析を行い、自分のキャリアプランを設定する
 仕事理解を深め、自分の理想とする働き方を明確にする
 キャリアプランに沿った目標を設定する
 自己PR、志望動機など相手にきちんと伝えることができる

《成績評価基準》

授業に取り組む姿勢と、課題、実技により授業目標 ~ の到達度を評価する。

《成績評価の方法》

授業の取組50% 課題30% 実技20%

《参考図書》

適宜紹介します

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	自己分析	予習：これまでの自分を振り返る(2時間) 復習：課題に取り組み自己理解を深める(2時間)
2	自己分析	予習：課題に取り組み自己理解を深める(2時間) 復習：講義内容を振り返り自己理解を深める(2時間)
3	仕事理解	予習：課題に取り組み仕事について考えておく(2時間) 復習：講義内容を振り返り仕事理解を深める(2時間)
4	仕事理解	予習：課題に取り組み自分の働き方について考える(2時間) 復習：講義内容を振り返り理想の働き方を考える(2時間)
5	キャリアデザイン	予習：課題に取り組みキャリアプランを考える(2時間) 復習：講義内容を振り返りキャリアプランを考える(2時間)
6	キャリアデザイン	予習：課題に取り組みキャリアプランを考える(2時間) 復習：講義内容を振り返りキャリアプランを考える(2時間)
7	キャリアデザイン	予習：課題に取り組みキャリアプランを考える(2時間) 復習：講義内容を振り返りキャリアプランを考える(2時間)
8	キャリアデザイン	予習：課題に取り組みキャリアプランを考える(2時間) 復習：講義内容を振り返りキャリアプランを考える(2時間)
9	目標設定	予習：夢実現に向けての目標を考える(2時間) 復習：講義内容を振り返り目標を設定する(2時間)
10	目標設定	予習：目標達成に向けてすべきことを考える(2時間) 復習：講義内容を振り返り自分がすべきことを考える(2時間)
11	自己PR	予習：自分の長所、短所、成功体験、失敗体験を書き出す(2時間) 復習：講義内容を振り返り自己PRをまとめる(2時間)
12	自己PR	予習：志望動機を考える(2時間) 復習：講義内容を振り返り長所、短所、志望動機をまとめる(2時間)
13	面接対策	予習：自己PR、志望動機が伝えられるよう練習しておく(2時間) 復習：講義内容を振り返り自分について相手に伝えられるようまとめる(2時間)
14	面接対策	予習：面接の練習をする(2時間) 復習：講義内容をふりかえり面接の練習をする(2時間)
15	まとめ	予習：講義内容を振り返りキャリアプランを再確認する(2時間) 復習：夢実現に向けてすべきことを実践していく(2時間)

《専門科目》

科目名	検定読解				
担当者氏名	高向 有理				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

N2に合格できる読解力を身に付けるために日常的な場面で使われる日本語を理解できるようにする。短文・中文の内容理解、統合理解、長文の主張理解、情報検索の読解演習をする。

《教科書》

N2読解スピードマスター

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

翌週の授業で文章中の語彙や文法を小テストで確認し、フィードバックをする。

《授業の到達目標》

- ・幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事・解説、易しい評論など、論旨が分かりやすい文章を読んで文章の内容を理解することができる。
- ・一般的な話題に関する読み物を読んで、話の流れや言いたいことを理解することができる。
- ・N2に合格する。

《成績評価基準》

- ・期末テストで6割以上、毎回の小テストでは8割以上を求める。
- ・小テストを受けていない場合は減点対象とする。

《成績評価の方法》

筆記試験 50% レポート %
 課題 % 実技 %
 授業の取組 50%
 その他 () %

《参考図書》

適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	内容理解(短文)150字~200字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
2	内容理解(短文)150字~200字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
3	内容理解(短文)150字~200字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
4	内容理解(中文)500字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
5	内容理解(中文)500字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
6	内容理解(中文)500字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
7	統合理解、600字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
8	統合理解、600字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
9	統合理解、600字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
10	主張理解、900字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
11	主張理解、900字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
12	主張理解、900字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
13	情報検索	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
14	情報検索	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
15	演習問題	授業のプリントの復習。

《専門科目》

科目名	検定文法				
担当者氏名	入江 千治				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

N2 レベルの日本語文章を理解するための文法を学ぶ。例文を読んで、意味と接続の関係を理解しながら文法を学んでいく。その上で、機能語をマスターし、文の形や構造をしっかりと把握する練習を積む。

《教科書》

耳から覚える文法トレーニングN2

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

翌週の授業で文章中の語彙や文法を小テストで確認し、フィードバックをする。

《授業の到達目標》

- ・文の内容に合った文法形式かどうかを判断することができる。
- ・文章の流れに合った文かどうかを判断することができる。
- ・N2 に合格する。

《成績評価基準》

- ・期末テストで6割以上、毎回の小テストでは8割以上を求める。
- ・小テストを受けていない場合は減点対象とする。

《成績評価の方法》

筆記試験 50% レポート %
課題 % 実技 %
授業の取組 50%
その他 () %

《参考図書》

適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	文の文法 文法形式の判断	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
2	文の文法 文法形式の判断	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
3	文の文法 文法形式の判断	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
4	文の文法 文法形式の判断	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
5	文の文法 文法形式の判断	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
6	文の文法 文の組み立て	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
7	文の文法 文の組み立て	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
8	文の文法 文の組み立て	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
9	文の文法 文の組み立て	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
10	文の文法 文の組み立て	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
11	文章の文法	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
12	文章の文法	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
13	文章の文法	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
14	演習問題	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
15	演習問題	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。

《専門科目》

科目名	検定文字語彙				
担当者氏名	志田 華奈子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

日常的な場面で使われる日本語を理解するための語彙を学ぶ。特に気持ちや様子を表す形容詞や副詞にポイントを置いて学ぶ。言語知識だけでなく、N2の読解や聴解問題に役に立つ語彙を身に付けるために演習を積む。

《教科書》

N2新完全マスター文字語彙

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回小テストを実施し、フィードバックする。

《授業の到達目標》

・日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができるようになる。

・N2に合格する。

《成績評価基準》

・期末テストで6割以上、毎回の小テストでは8割以上を求める。
・小テストを受けていない場合は減点対象とする。

《成績評価の方法》

筆記試験 50% レポート %

課題 % 実技 %

授業の取組 50%

その他 () %

《参考図書》

適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	動詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
2	動詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
3	形容詞・名詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
4	形容詞・名詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
5	形容詞・名詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
6	副詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
7	副詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
8	副詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
9	副詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
10	副詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
11	慣用表現	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
12	慣用表現	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
13	慣用表現	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
14	演習問題	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
15	演習問題	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。

《専門科目》

科目名	ビジネスコミュニケーション				
担当者氏名	井上 しづ恵、高藤 純子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力					

《授業の概要》

時事用語やビジネス用語をきちんと理解し、常識を身に付ける。表やグラフ、統計を理解し、問題を提起できるようにする。新聞記事などを読んで、課題を見つけ、解決につながる糸口を提起できるようにする。

《教科書》

ビジネス能力検定ジョブパス2級

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回演習問題を解き、授業内で解説する

《授業の到達目標》

- ・ インターンシップ前におさえておきたいビジネス知識やビジネスマナーを理解することができる。
- ・ 仕事に役立つ論理力を養うことができる。
- ・ 時事用語やビジネス用語を理解することができる。
- ・ 表やグラフを見て、問題発見や分析ができる。
- ・ ビジネス能力検定2級に合格する。

《成績評価基準》

授業での演習を通して、ビジネス能力検定2級レベルの知識、思考力、分析力を身につけることができたかを評価する

《成績評価の方法》

筆記試験 40% レポート %
 課題 % 実技 %
 授業の取組 60%
 その他 () %

《参考図書》

適宜紹介する

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	キャリアと仕事へのアプローチ	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
2	会社活動の基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
3	話し方と聞き方のポイント	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
4	接客と営業の進め方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
5	不満を信頼に変えるクレーム対応	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
6	会議への出席とプレゼンテーション	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
7	チームワークと人のネットワーク	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
8	仕事の進め方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
9	ビジネス文書の基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
10	統計・データの読み方、まとめ方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
11	情報収集とメディアの活用	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
12	会社数字の読み方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
13	ビジネスと法律・税金知識	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
14	産業と経済の基礎知識	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
15	知識・読解・分析などの総括	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する

《専門科目》

科目名	ビジネスプレゼンテーション				
担当者氏名	志田 華奈子、高藤 純子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

プレゼンテーションは、授業での口頭発表、就活、仕事上の企画や報告など様々な場面で必要とされるスキルである。またプレゼンテーションには、発表のテクニックだけではなく、論理的思考および文章力も必要になる。この授業ではプレゼンテーションとは何かを理解し、伝えたいことを論理的に考察し、適切な音声・スライド・文章表現などを身につけて発表できるスキルを身につける。

《授業の到達目標》

- ・目的に応じて効果的な文章表現を作成し、プレゼンテーションを設計することができる。
- ・聴き手を意識したわかりやすく、説得力のあるプレゼンテーションができる。
- ・文章作成や発表を通して、適切な音声やスピードで人前で話すスキルや批評力を身につける。

《成績評価の方法》

授業内発表 40%
課題 30%
授業の取組 30%

《教科書》

適宜プリントを配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

コメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

- ・目的に応じて効果的な文章表現を作成し、プレゼンテーションを設計することができたか。
- ・聴き手を意識したわかりやすく、説得力のあるプレゼンテーションができたか。
- ・文章作成や発表を通して、適切な音声やスピードで人前で話すスキルや批評力を身につけることができたか。

《参考図書》

- 『1分で話せ』伊藤羊一（SBクリエイティブ）
- 『大学生のための日本語表現トレーニング』橋本修（三省堂）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
2	プレゼンテーションの基本	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
3	プレゼンテーションの基本 (PREP法)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
4	プレゼンテーションの基本 (根拠とは)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
5	レポートを書く (テーマの動機付け)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
6	レポートを書く (段落構成の作り方)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
7	レポートを書く (文章作成)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
8	実習 (プレゼンテーション作成)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
9	実習 (中間発表)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
10	相手に伝わる話し方	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
11	プレゼンテーションのテクニック	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
12	プレゼンテーションのテクニック	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
13	プレゼンテーションのテクニック	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
14	授業内発表	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
15	発表評価と振り返り	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)

《専門科目》

科目名	実践的プログラミング演習				
担当者氏名	柿山 達哉、常岡 直樹				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

実践的なマクロを自らアイデアを出して設計する。
上記設計の基づいてExcelシートを作成する。
作成したExcelシートのプレゼンテーション資料を作成する。
自分の作成したExcelシートのプレゼンテーションを行う。

《教科書》

今すぐ使えるかんたんエクセル2019
井上香緒里著
技術評論社

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

個人ごとに課題に対する評価レポートを提示し、説明する。

《授業の到達目標》

自分で実用性のあるマクロ機能を使ったExcelシートを設計し、完成させることができる。

《成績評価基準》

- ・授業に対し意欲的に取り組んでいたか。
- ・課題に対して真摯に取り組むことができたか。
- ・出席率、予習、復習を重視します。

《成績評価の方法》

課題 60%
授業の取組 40%

《参考図書》

適宜紹介します

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	課題マクロ作成 課題の内容説明	予習：なし 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
2	課題マクロ作成 アルゴリズム解説	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
3	課題マクロ作成 表とグラフのデザイン	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
4	課題マクロ作成 表とグラフのデザイン	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
5	課題マクロ作成 個別指導	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
6	課題マクロ作成 個別指導	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
7	課題マクロ作成 個別指導	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
8	課題マクロ作成 作成課題の提出	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
9	自由課題マクロ作成 自由課題の決定	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
10	自由課題マクロ作成 コーディング実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
11	自由課題マクロ作成 コーディング実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
12	自由課題マクロ作成 コーディング実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
13	自由課題マクロ作成 コーディング実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
14	自由課題マクロ作成 コーディング実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
15	自由課題マクロ作成 成果発表	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)